

コウガイモ

Vallisneria denseserrulata (Makino) Makino

トチカガミ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

1990年代末まで、石川県内での自生が知られていなかったが、その後県内での稀産が確認された。(現況:V O)

形態

葉はリボン状(線状)で長さ10~60cm、幅5~11mm、葉端は鈍頭または鋭頭、葉縁の鋸歯は変異が大きい。葉の下部にまで生じる。葉腋から送出枝を伸ばし、先端に新苗を付ける。秋、送出枝の先端に1~3cmのこがれい状の殖芽を形成して越冬する。

国内分布

本州・九州。中国にも産する。

県内分布

南加賀区。

生態など

多年生の沈水植物で群生する。

生育環境

平地の池沼、河川、水路。

危険要因

池沼開発、河川開発、水質汚濁、産地局限。



白井伸和・2002年8月10日・加賀市

分布図はありません。

県内の分布